



# 『公共』(公共 701) × 『倫理』(倫理 701) 学習内容の関連性について

新教育課程の「倫理」は、「公共」の学習を土台として、多様な概念や理論を理解することが求められています。また、令和7年度以降の共通テストでは、出題科目が「公共、倫理」という形で組み合わせられるため、「公共」と「倫理」の学習の接続性がより一層求められます。東京書籍の『倫理』では、『公共』に登場する先哲の思想・研究をより詳しく説明していることはもちろん、Dマークコンテンツで『公共』の紙面を確認できるようにした

り、巻頭巻末に「思想史年表」を掲載したりするなど、「公共」とのスムーズな接続に配慮しています。

今回ご案内する下記の学習内容関連表では、『公共』の特に倫理分野と関連の深い【第1部「公共」のとびら】  
◇第1章 公共的な空間をつくる私たち－社会のなかの自己◇第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方－共に生きるための倫理 について、『倫理』の学習内容との具体的な関連性を示します。

## 『公共』(公共 701) × 『倫理』(倫理 701) 学習内容関連表

章(節)	項(特設ページ)	タイトル	学習事項	関連する『倫理』の主なページ	『倫理』で展開する学習事項	
『公共』第1部	1 (1)	1 ◆	青年期と自己形成の課題	青年期の発達課題、アイデンティティの確立 など	p.10-12, p.19-20	他者の存在, 道徳性 など
		2	自己形成と社会への参画	ライフサイクル, 生きがい など	p.10-12, p.19-20	世代性(ジェネラティビティ) など
	1 (2)	1	個人として尊重される人間	夏目漱石, 自由, カント, J.S. ミル など	p.100-103, p.108-109, p.142-143, p.190-193	理論理性と実践理性, 権力, 近代的な自己 など
		2	社会的な存在としての人間	公共空間, アーレント, ハーバーマス など	p.132-134, p.195-196	全体主義, 差別の問題 など
		3	伝統・文化のなかの人間	丸山真男, 「おのづから」, 「公」と「私」 など	p.150-156, p.200-201	日本人の自然観, 宗教観, 倫理観, 「うち」と「そと」 など
		(アプローチ)	現代の世界と宗教	宗教, 三大世界宗教 など	p.43-66	デュルケーム, 聖と俗 など
	2	1 ◆	功利主義と幸福の原理	幸福, 功利主義, 徳倫理学 など	p.37-39, p.78-79, p.107-109	友愛, 快樂主義, 功利性の原理 など
		2 ◆	義務論と公正の原理	義務論, ロールズ, セン など	p.100-103, p.136-137	リバタリアニズム, コミュニタリアニズム など
		(活用)	生命倫理について考える	エンハンスメント など	p.208-212	生命の質(QOL), ヘルシズム など
		(活用)	環境倫理について考える	環境思想, 持続可能な開発 など	p.213-217	ディープ・エコロジー, 環境プラグマティズム など
(ゼミナール)		人間としての在り方生き方の探求－先哲の思想に学ぶ	西洋思想, 東洋思想	p.24-205(第2～4章), 巻頭巻末(思想史年表)		

◆…『倫理』のDマークコンテンツで紙面を記載